

がん研有明病院

受診のご案内



「がん克服をもって人類の福祉に貢献する」

がん研究会は、日本初のがん専門機関として1908年に創設以来1世紀にわたり、がん克服への強い意志のもと、独自に研究や医療技術の進歩につとめ、日本のがん医療に貢献してきました。

がん研有明病院は、理念と伝統を守りながら、社会環境の変化へ対応し先進的な取り組みを続けています。当院で治療を受けるがんの患者数や手術症例数は日本最多で、年間の手術は7700件を超えています。

国際患者サービス 外国人の患者さんが安心して安全な医療を受けられるように

国際患者サービスでは、患者さんが言葉や文化の違いによる不安を感じることなく治療できるよう、問い合わせから治療後のフォローアップまで総合的にサポートしています。

当院の受診を希望される外国人の患者さんご家族は、国際患者サービスにどうぞお気軽にお問い合わせください。申込み受付、予約の調整、検査や治療等の費用のご案内、医療ビザ、通訳・翻訳業者のご紹介、病院スタッフとのコミュニケーション、診療時の英語通訳など、それぞれの患者さんの必要に応じてお手伝いします。

対応言語：日本語・英語・中国語

受付時間：平日 午前9時～午後5時（土・日・祝祭日を除く）

☎ +81-3-3570-0383

✉ intl.info@jfc.or.jp



目次

- 02 はじめに
- 04 受診のながれ
- 問い合わせ
- 06 問い合わせから初回受診まで
- 07 問い合わせ方法
- 08 問い合わせに必要なもの
- 09 保険
- 10 問い合わせ時の費用
- 10 当院での支払い
- 12 初回診療-セカンドオピニオン
- 13 検査のみをご希望される場合
- 13 当院で取扱いのない疾患・治療
- 13 薬のみの購入をご希望される方へ
- 14 来院(来日)をお勧めしない場合
- 14 女性の方へ将来お子様を持つことをご希望される方へ
- 14 診療制限やその他ご希望のある方へ
- 来院の準備
- 15 治療のために来日される方とそこで家族へ
- 16 日本語を話されない患者さんへ
- 17 日本語を話されないご家族の方へ
- 初回来院
- 18 当日持参するもの
- 18 院内のルールとマナー
- 19 新患受付のながれ
- 20 初回診療時にご相談いただくこと
- 当院での治療を決めた方へ
- 21 初回ご相談後のながれ
- 22 入院
- 23 入院治療
- 24 ご家族の方へ、面会の方へ
- 24 通訳・代理人の方へ
- 25 退院後
- 26 健診センター
- 27 アクセス
- 27 がん研究会を支える皆さまからの寄付

問い合わせ

ホームページ、電話またはメールから、お問い合わせください。
日本語、英語、中国語でご案内します。

☐ 医療情報の準備

➔ 問い合わせ方法 (07ページ)

➔ 問い合わせに必要なもの
(08ページ)

➔ 問い合わせ時の費用
(10ページ)

予約案内

初回診療は原則セカンドオピニオンをご案内します。

☐ 来日の準備、ビザ

☐ 通訳

☐ 保険、費用

➔ セカンドオピニオン (12ページ)

➔ 治療のために来日される方と
ご家族へ (15ページ)

➔ 日本語を話されない患者さんへ
(16ページ)

➔ 日本語を話されないご家族の方
へ (17ページ)

➔ 保険 (09ページ)

➔ 当院での支払い (10ページ)

初回来院

担当医とご相談いただきます。

☐ 病気が見つかったから現在までの過程

☐ 現在の病気の状態

☐ 可能な治療法や今後の治療方針について

☐ 当院で治療を受ける場合の想定治療、必要な検査とその日程

治療費用については、インターナショナルサービスにお問い合わせください。

➔ 初回来院 (18ページ)

検査

診断確定、治療方針決定のために必要な検査を受けます。
疾患により必要な検査内容は異なり、数日～数週間かかります。

➔ 初回ご相談後のながれ
(21ページ)

診断、治療方針の決定

担当医から検査結果、および診断について説明します。
患者さんをご家族全員が理解、納得、合意する治療方針を担当医と一緒に
決定します。

➔ 初回ご相談後のながれ
(21ページ)

当院での治療を決められた場合

入院申し込み

当院での入院治療時のルールをご確認ください。

- ☐ 原則24時間通訳の同伴
- ☐ 個室について

- ➡ 入院 (22ページ)
- ➡ 日本語を話されない患者さんへ (16ページ)

入院治療

チーム医療

入院中は主治医の他に複数名が担当医となりチームで治療します。

- ☐ ご家族の方、通訳の方へのお願い
- ☐ インターナショナルサービススタッフのサポート

- ➡ 入院治療 (23ページ)
- ➡ 日本語を話されないご家族の方へ (17ページ)
- ➡ ご家族の方へ、面会の方へ (24ページ)
- ➡ 通訳、代理人の方へ (24ページ)

帰国までの滞在

退院後1～3週間の内に外来診察で、病理の結果をお知らせします。

- ☐ 再来院のご相談
- ☐ 今後の診療拠点
- ☐ 次回の診察予約

- ➡ 退院後 (25ページ)

帰国後、経過観察

帰国後に病理診断結果が出た場合は、ご連絡します。

帰国後もし質問があれば、インターナショナルサービスへご連絡ください。

多くの海外患者さんが、定期的に来院し経過観察をしています。

問い合わせから初回受診まで

がん研有明病院の受診は予約制です。外来診療は、平日の午前9時～午後5時です。
インターナショナルサービスでは、初回予約のご案内からお手伝いいたします。

ステップ1

インターナショナルサービスに問い合わせ

当院ホームページ、インターナショナルサービスのメール、
電話などからお問い合わせください。

➡ お問い合わせ方法 (07ページ)

問い合わせ、申し込み時に費用はかかりません。

➡ お問い合わせ時の費用 (10ページ)

日本の健康保険証をお持ちでも、日本語
での受診が難しい方はインターナショナル
サービスにご連絡ください。

➡ 問い合わせに必要なもの (08ページ)

ステップ2

医療情報のご送付

準備された医療情報をインターナショナルサービスに送付してください。

➡ 問い合わせに必要なもの (08ページ)

診療科専門医が受領した資料を確認しま
す。約2-3営業日かかります。

ステップ3

インターナショナルサービスから返信

問い合わせいただいたメールに返信、あるいは電話にて連絡いたします。

医学的な理由からご来院をお勧めしない場合もあります。

➡ 来院 (来日) をお勧めしない場合 (14ページ)

1週間以上病院から返事がない場合は、念
のため、インターナショナルサービスに再
度ご連絡ください。

ステップ4

来院の準備

来日ビザが必要な方は準備してください。

➡ 治療のために来日される方とご家族へ (15ページ)

初回予約のご案内

ご希望の来院時期をお知らせください。

予約完了

来院前の確認

➡ 保険 (09ページ)

➡ 来院の準備 (15ページ)

➡ 日本語を話されない患者さんへ (16ページ)

ビザ取得の予定日に合わせて初回予約を
調整いたします。来院証明書が必要な方
は、インターナショナルサービスにお問
い合わせください。

初回はセカンドオピニオンをご案内いた
します。

➡ セカンドオピニオン (12ページ)

通訳、来院等についてご不明な点があ
りましたら、インターナショナルサービス
にお問い合わせください。

ステップ5

来院

インターナショナルサービスよりご案内した時間にご来院願います。

追加の資料があれば、当日ご持参ください。

➡ 初回来院 (18ページ)

インターナショナルサービスのスタッフと
お約束の方は、ご来院時にお呼び出しく
ださい。新患受付のご案内をいたします。

問い合わせ方法

当院のホームページ

当院のホームページから問い合わせができます。

<http://www.jfcr.or.jp/english/hospital/apply/index.html>

➡ 問い合わせに必要なもの (08ページ)

患者さん情報に加え、もう一名様(代理人・キーパーソン)の連絡先情報をアプリケーションフォームにご記入のうえ、医療情報(紹介状(診療情報提供書)、画像データ、検査結果レポート等)を添付して送信してください。

インターナショナルサービスのメール

医療情報を添付して、✉ intl.info@jfcr.or.jp へ送信してください。

➡ 問い合わせに必要なもの (08ページ)

ホームページ以外にもメールによる窓口を設けています。アプリケーションフォームは記載できる文字数が制限されていますので、必要に応じてメール本文にご記入ください。

電話

ご質問・ご不明な点などございましたら、お電話にてお問い合わせください。

➡ 問い合わせに必要なもの (08ページ)

まだ来日や受診を決めていらっしゃらない場合やご家族の受診や、海外在住の知人の受け入れが可能かどうかなどについてもご案内しております。

☎ +81-3-3570-0383

対応言語: 日本語・英語・中国語

受付時間: 平日 午前9時～午後5時(土・日・祝祭日を除く)



問い合わせに必要なもの

□ 申込用紙(アプリケーションフォーム)

当院ホームページから直接入力、問い合わせ、申込みできます。

患者さんと代理人(申込者、ご家族、キーパーソン等)の連絡先をご記入ください。

医療(検診)情報

下記の医療(検診)情報のうち、ご用意のあるものを提出してください。

海外医療機関からの資料は、日本語または英語に翻訳されたものを送付してください。

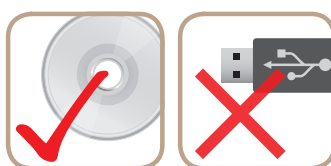
□ これまでの治療経過をまとめた診療情報提供書(紹介状)

いずれも治療を受けた医師によるがん発見の経緯や受けた治療の詳細について、記載があるものを準備してください。

□ 画像データ

CT, MRI, PET-CT, 内視鏡(上部・下部)、超音波など。
(DICOMが望ましい)

現在の全身状態がわかるもので、
ご用意のあるものを提出してください。



以下のような具体的な内容を含む文書をご準備ください。

検査: 各検査を受けた時期。検査の種類。
検査の結果、診断を受けたがんや病名。

手術: 手術を受けた時期。手術の種類、術式。受けた医療機関名。術後の病理結果。

化学療法: 抗がん剤治療を受けた時期。実施回数。抗がん剤の種類。治療の効果。

放射線治療: 放射線治療を受けた時期。レベル。放射量。照射範囲。

□ 検査結果レポート

画像データに付随したレポート。

血液検査結果(特に最近のもの)

検診結果レポート(検診等でがんが見つかった方)

□ 病理の標本プレパラート

当院で再検査をご希望の場合は、事前提出ください。

その際は、病理診断レポートも一緒にご用意ください。



個人情報の取り扱いについて

当院は、みなさまに安心して医療を受けていただくために、安全な医療をご提供するとともに、個人情報を適切に管理することを社会的責務と考えています。個人情報保護に関する方針を院内で定め、職員及び関係者に周知徹底を図り、個人情報の保護に努めています。

保険

当院でのお支払い方法は日本の健康保険証をお持ちであるかどうかにより異なりますので、ご留意ください。

➡ 当院での支払い (10ページ)

日本の健康保険証をお持ちでない患者さん

日本の健康保険証をお持ちでない方は、自費診療となります。

入院費用は概算見積額を入院前にお渡しし、全額デポジットいただいたうえで入院となります。退院時に差額がある場合は、返金いたします。また、追加費用をいただく場合もあります。

治療費はがんの種類や治療法、またその他の既往歴と併発している疾患にもより異なりますが、疾患別にある程度の想定治療費をご案内いたします。

いかなる理由や状況がありましても診療費の免除や減額は適用されませんので、あらかじめご了承ください。

日本の健康保険証をお持ちの患者さん

日本の健康保険証をお持ちの方は、初回来院時に必ず持参ください。

ご家族が日本の健康保険証を持っている場合でも、患者さんが被保険者の扶養に入っていない場合は適応されず自費診療となります。

日本に帰国(来日)してから健康保険証を取得予定の患者さんは、保険取得までは自費診療で、保険資格取得日から保険適用となります。なお、保険取得後に、自費診療分の診療費の払い戻しは致しませんのでご了承ください。

申請時に資格証明書を受け取った場合は、1階3番窓口提出してください。

高額療養費の支給制度

日本の健康保険証をお持ちの方は、高額療養費の支給制度を利用することができます。年齢や被保険者の所得に応じた自己負担限度額以上の医療費は免除される制度です。事前に限度額適用認定証の交付を受け、1階3番窓口または入退院受付に提出してください。

詳細は、市区町村役所の該当部署か被保険者の勤務先にお問い合わせください。

プライベートな保険をお持ちの患者さん

当院から患者さんのプライベートな保険会社や、患者さんご家族以外の方への直接請求は原則しておりません。

医師の診断書(英文)、保険会社指定用紙への主治医のサインなどが必要であればお手伝いいたします。

入院治療に関して全額支払い証明書がある場合でも、患者さん側で一度立て替えていただき、後で各自ご自分の保険会社へ申請していただくようお願いしています。

問い合わせ時の費用

当院では、各診療科部長または専門医が、受領した資料を確認してから予約を案内しています。特に海外に住んでいて治療の為に来日する患者さんについては、来日が可能かどうか、当院で積極的な治療が十分見込まれるか資料を確認してから予約をご案内しています。

問い合わせ時の医師による資料確認に対しては診療費用を請求していません。

治療に関する具体的なご質問等には、別途料金で文書によるセカンドオピニオンとしてお答えしています。

➡ セカンドオピニオン-文書によるセカンドオピニオン(12ページ)

当院での支払い

日本の健康保険証をお持ちでない患者さん

外来

受診日当日は、窓口にてお会計を済ませてからご帰宅ください。

入院

入院日までに、概算見積額全額を当院指定銀行口座にお振込みください。

概算見積書をお出ししますので、診察時に入院治療の予定が出た際に、インターナショナルサービスにご連絡ください。

プライベートな保険をご利用予定でもまず上記方法にてお支払いいただくようお願いいたします。

➡ 保険(09ページ)

支払方法

	外来	入院
現金(日本円)	✓	* 事前にインターナショナルサービスにご相談ください。
クレジットカード	✓ VISA, MasterCard, UC, JCB, American Express, Diners Club	×
デビットカード	✓ 日本の銀行に口座を持っている場合のみ	×
銀行振り込み	×	✓ 当院指定口座をご案内します。

クレジットカードのご利用は可能ですが、インターネット上での決済は受け付けていません。来院時に窓口にてお支払いください。

海外からの送金

海外からの振込みをされる際には、振込み手数料をご確認のうえ、ご負担ください。差額があれば、退院日に日本円で返金いたします。ただし、国内にて使用可能な金融機関の口座に限って、振込も可能です。外国送金等の取扱いはありません。

日本の健康保険証をお持ちの患者さん

外来

受診日当日は、窓口・自動精算機にてお会計を済ませてからご帰宅ください。

入院

退院日に治療費の請求書をお渡しますので、退院日より1週間を目安に会計窓口または銀行振り込みでお支払いください。

自動精算機にてクレジットカードでお支払いの場合は、4ケタの暗証番号が必要となりますのでご注意ください。

プライベートな保険をお持ちの方
➡ 保険 (09ページ)

支払方法

	外来	入院
現金(日本円)	✓	✓
クレジットカード	✓ VISA, MasterCard, UC, JCB, American Express, Diners Club	✓ VISA, MasterCard, UC, JCB, American Express, Diners Club
デビットカード	✓ 日本の銀行に口座を持っている場合のみ	✓ 日本の銀行に口座を持っている場合のみ
銀行振り込み	×	✓

クレジットカードのご利用は可能ですが、インターネット上での決済は受け付けていません。来院時に窓口・自動精算機をご利用ください。

取扱いなし

以下は、日本の健康保険証をお持ちかどうかに関わらず、取扱いがありませんのでご注意ください。

外貨現金・両替

院内会計窓口で、日本円への両替は受け付けておりません。あらかじめ日本円をご用意ください。

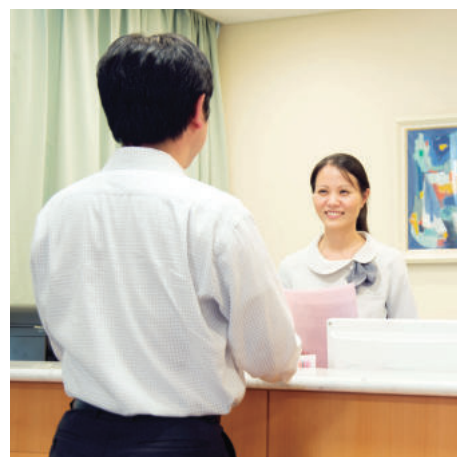
小切手

お預かりできません。現金に換金されたうえお持ちください。

キャッシュバック

カード類で支払う際に、キャッシュバックサービスをしておりません。

日本円が現金で必要な方は、あらかじめご用意ください。



初回診療ーセカンドオピニオン

セカンドオピニオンとは…

現在受診されている医療機関(診療結果)のみではなく、他の医療機関での意見も参考として治療法を決定したい方のご相談をお受けしています。該当診療科専門医と、これまでのがん治療(受けている場合)、現在の状態、今後の可能な治療法などについて、じっくりご相談いただけます。当院での治療が可能か、その場合には具体的な想定治療内容と治療日程についてもご相談いただけます。

セカンドオピニオン診療時には、原則、検査などを行っておりません。

患者さん来院によるセカンドオピニオン

当院での治療をご希望されている海外からの患者さんには、通常初回をセカンドオピニオンでご案内しています。

➡ 初回診療時にご相談いただくこと
(20ページ)

代理人来院によるセカンドオピニオン

患者さんが遠方(海外)にお住まいの場合には、患者さんが委任されたご家族や知人による代理セカンドオピニオンも可能です。ご相談者がご家族以外の代理人の場合は、当院規定の代理相談同意書に署名の上、来院時に持参いただいております。

実際に患者さんが来日する前に、一度日本にお住いの代理人によるご相談をお勧めしています。また、まずご家族だけが病気の状態を知りたいという場合は、一度ご家族だけでセカンドオピニオンを受け医師とご相談することも可能です。



文書によるセカンドオピニオン

日本にご家族や知人がいらっしゃらない患者さんのための、セカンドオピニオンサービスです。ご送付いただいた医療情報や患者さんからのご質問をもとに、該当診療科の部長・担当部長、または専門医が見解を1ページの文書にまとめてお返事いたします。

申し込まれた方には、お振込のご案内をいたします。文書の作成には、お振込の確認ができてから約1週間～10日間を目安にご案内しています。

セカンドオピニオン申し込みに必要なもの

問い合わせに必要なもの(08ページ)をご参照ください。

費用(税込)

来院相談料 110,000円 / 30分、延長30分毎 44,000円～

病理組織診断料	生検材料(染色済み)	5,500円
	手術材料(染色済み)	11,000円
	未染色、ブロック標本	33,000円

他の医療機関からの病理標本を持参する場合、再検査も承っています。

検査のみをご希望される場合

がんの治療を受けていない方

これまでにがんの診断や治療を受けたことは無いが、来日する予定があり、日本の最先端のがん専門医療機関である当院で検査を受けたいという問い合わせを多くいただきます。そのような方には、健診センターでの検査をご案内しております。全身がんドックコース+PET-CTの全身検査をご希望の方、胃がんの検査のみ等単項目検診、あるいは女性のがん検診(乳腺+婦人科)など複数項目検診も可能です。

➡ 健診センター (26ページ)

がんの診断・治療をこれまでに受けた方

現在、がん治療をされていない方でもこれまでにがんの診断を受け、手術・抗がん剤あるいは放射線治療などを受けた方には、初回セカンドオピニオンをご案内しています。

➡ セカンドオピニオン (12ページ)

該当診療科専門医に、これまでの治療・現在の状態、今後の治療の選択肢、当院での検査についてもご相談ください。通常は当院で検査のみをお受けしていませんが、当院で今後治療が見込まれる場合にはその精査を組むことがあります。

当院で取扱いのない疾患・治療

以下の疾患や治療法について、セカンドオピニオン・治療をお受けしていません。

取扱いのない疾患(例)

- ・脳腫瘍
- ・心臓病疾患
- ・皮膚がん
- ・一部の小児がん(整形外科の小児がんは受診可能)
- ・急性骨髄性白血病

取扱いのない治療法(例)

- ・重粒子治療、陽子線治療
- ・免疫療法
- ・腎透析
- ・臓器移植
- ・骨髄移植(同種移植)

※トモセラピーについて
当院ではトモセラピーと同等の治療ができるリニアックを使ったVMAT(回転型のIMRT)で対応しています。

薬のみの購入をご希望される方へ

当院では、患者さんの受診なしに薬のみの販売および海外への配送をしておりません。日本では、薬によっては一度に処方できる日数や量に制限があります。そのため、定期的な受診が必要となります。

来院(来日)をお勧めしない場合

お問い合わせ時に、いただいた医療情報を該当診療科専門医が拝見します。患者さんの状態によっては、飛行機での長時間の渡航をお勧めしない場合があります。その場合、ご家族や知人による代理セカンドオピニオン受診、また文書によるセカンドオピニオン相談をご案内しています。

がんの為に日常生活が難しい方や、車椅子にのらないと来日が困難なほど体調がすぐれない方は、来日をお勧めしません。来院されても当院で治療をせずに帰国をおすすめすることがあります。

➡ セカンドオピニオン(12ページ)

女性の方へ、将来お子様を持つことをご希望される方へ

女性の患者さんの中には、女性医師の受診を希望する方がいらっしゃいますが、必ずしもご希望どおりにならない場合もあります。

宗教上の理由等どうしてもご心配な方はお申込みをされる際に、インターナショナルサービスにお問い合わせください。

当院ではがんの検査は行いますが、患者さんが妊娠しているかどうかの検査は行いません。妊娠の可能性があると思われる方は必ず主治医にご相談ください。また、治療が見込まれている方は、必ず避妊をしてください。

当院で実施する検査の中には、微量の放射線の被曝を伴うものなど、妊娠しているとできない検査があります。

妊娠を希望されている方は、治療前に卵子・精子の保存等について専門医療機関へお問い合わせいただくか、当院初診時に担当医にご相談ください。男性の患者さんでも、お子様を希望されている方はご相談ください。



診療制限やその他ご希望のある方へ

宗教上の理由等で、治療や輸血に関して特別な制限やご希望がある方は問診票や同意書などで質問項目がありますので、その旨をご記入ください。また診察の際に担当医にお申し出下さい。

入院中のお食事対応

患者さんの入院中のお食事については、ベジタリアンや豚肉抜きのご希望への対応が可能です。

➡ 入院治療(23ページ)

イスラム教徒の患者さんにはアルコール・豚肉抜きの食事をご用意したりメニューを魚・卵・牛乳・大豆製品・野菜果物中心のものに配慮することは可能ですが、通常の患者さんと調理場を別にしたりする施設上の対応はできかねますのでご了承ください。

院内での礼拝

来院中に、宗教上の理由で礼拝が必要な方は、事前にインターナショナルサービスにご連絡ください。院内の廊下や検査室内での礼拝活動は、他の患者さんの治療の妨げにもなりかねますので、ご遠慮くださいますようお願いいたします。入院中の患者さん及びご家族関係者の礼拝は、病棟個室内でお願いいたします。

治療のために来日される方とご家族へ

日本滞在中のビザ

治療は日本に滞在する期間が十分にある前提で開始いたします。滞在ビザの残存期間が十分にあることをご確認ください。詳しくは、外務省のウェブサイトをご参照ください。

メディカルビザ(医療ビザ)

治療のために来日する日本に在住していない患者さんとご家族には、メディカルビザを取得してからの来日をお勧めしています。

メディカルビザを申請する場合は、日本では申請ができない為、一度自国に帰国して申請する必要がありますので、ご留意ください。

当院が直接患者さんの身元保証人になることは行っておりませんが、初診予約をご案内した後、受診等が予定されている旨の来院証明書をお出ししています。

自国を出国される前に

診療費

初回来院前の支払いは必要ありませんが、高額送金が見込まれる場合は、来日前に自国の銀行などに治療のため来日予定があること、高額の海外送金が見込まれることを事前にご連絡されることをお勧めしています。

持参する薬

現在処方されている薬や服用・使用されている薬(内服、インシュリン注射、塗薬など)はご持参ください。薬の成分・飲み方や用量を確認します。治療によっては入院前より中止や調整が必要なものもあります。

薬本体以外にも、下記のものをあわせてご持参いただき、外来受診時に担当医にお見せください。

- ・薬の箱やビン、お薬手帳、説明書など薬品情報、処方箋の写しなど。
- ・疾病の治療のためにその薬が必要であることの証明書類など。
- ・サプリメント・漢方・その他栄養食品(物品とその成分情報書)

医療用麻薬・向精神薬の携帯については、国によって規制が異なります。持参される場合は、厚生労働省のウェブサイトをご参照ください。

外務省のウェブサイト

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/visa/medical/index.html>

観光ビザは有効期間が短期間の為、当院で治療を受ける方は延長手続きが必要になる場合があります。手術前の患者さんが来日後に、ビザ延長審査手続きを行うことは大きな負担になります。

メディカルビザ対応会社もご紹介いたしますのでお問い合わせください。

➡ 当院での支払い(10ページ)

サプリメントなどは、海外商品の用量が日本国内基準値と大幅に違う場合があります。手術前に薬品摂取の制限だけでなく、サプリメント補助食品の制限も必要があるか確認しますので、同様に必ずご持参ください。

厚生労働省地方厚生局のウェブサイト

<http://www.nco.go.jp/zenkoku.html>

日本語を話されない患者さんへ

院内コミュニケーション

当院では、患者さんに医療従事者からの説明を正確にご理解いただき、検査や治療の同意書にサインをいただくなど治療に対する意思・同意を確認しながら、治療を進めております。

入院治療時は、原則個室をご利用いただいています。さらに日本語または英語を話されない患者さんには、通訳の方の24時間同伴をお願いしております。夜間も通訳の方には患者さんのお部屋に泊まっていただくようお願いしています。

英語を話される方へ

通訳の同伴は必須ではありません。病院スタッフとのコミュニケーションが難しい場合には、診療時間内(平日 午前9時～午後5時)であれば、インターナショナルサービスのスタッフが、英語でサポートいたします。入院治療時の夜間や週末などの時間帯が心配な方は、日本語を話される方が付き添われることをお勧めしています。

その他の言語を話される方へ

ご自分で通訳を手配された上での来院をお願いしております。中国語に関しては、インターナショナルサービスでは中国語のネイティブスタッフもおりますが、原則通訳同伴での来院・入院をお願いいたします。

ご家族や知人が通訳をする場合もありますが、病気や治療方針の説明、入院や手術についての説明は専門的で、かつ正確な理解を必要とするため、医療現場での通訳経験があるなど、一定水準以上の通訳同伴をお願いしています。

診療時に十分なコミュニケーションが取れず、当院での治療継続が難しいと判断した場合には、安全を第一に考えてご予約をお受けできない場合もありますので、ご了承ください。

当院から通訳派遣会社を紹介することも可能ですので、必要な場合はご相談ください。

インターナショナルサービススタッフによるサポート

問い合わせ時から、必要な資料の説明や予約のご案内、来院までの説明に加えて、来院後も治療中のサポートをいたします。(平日 午前9時～午後5時)

- ・診療時の英語通訳補助
- ・問診票や検査説明の英語・中国語通訳補助
- ・紹介状、診断書、検査結果などの英文書対応

通訳同伴の患者さんへの説明の際に、当院の担当医師・看護師や医療者の判断で、インターナショナルサービスのスタッフを同席させる場合がありますのでご了承ください。



日本語を話されないご家族の方へ

治療のサポートのお願い

当院では、医療従事者の説明を患者さんだけでなく、ご家族にもご理解いただき、治療に対する意思・同意を随時確認しながら治療を進めています。ご家族内で治療に対して様々なご希望があり、ご意見がわかれる場合もありますが、患者さんとよくご相談のうえ、最適な治療方針の決定をお願いいたします。

ご家族の方には、治療方針についてのご相談、入院・手術の説明、退院後の栄養指導など、ご同席をお願いすることがありますので、ご家族の方のスケジュール調整もお願いいたします。

文書のサポート(日本語・英語)

ご家族の方が患者さんの来院・治療に付き添うために必要な英文書の作成も行っております。例えば、仕事を長期間休み、会社に提出する診断書が必要な場合は、患者さん名義の診断書を発行しています。

がんの検査をご希望の方へ

患者さんに付き添い来院されるご家族の方の多くが、ご自分もがんの検査を受けたいと希望されます。当院では同敷地内に健診センターを併設し、がんの早期発見・早期治療を推進しています。

➡ 健診センター(26ページ)

当日持参するもの

- ☐ 日本の健康保険証 ー提示がない場合は全額自費扱いとなります。
(日本の健康保険証をお持ちの患者さん)
各種受給者証(特定疾患・一人親・障害等)をお持ちの方は、当日持参してください。

保険証・医療証等は最終受診日から30日経過して受診された場合は再確認させていただきます。内容に変更がある方または変更手続き中の方は、診察・検査前に1階受付3番窓口へお越しください。

- ☐ 写真付身分証明書 ー外国人登録証明書もしくはパスポート
(日本の健康保険証をお持ちでない患者さん)

- ☐ 問い合わせ時や事前に提出していない追加診療(検診)情報
お持ちの場合は当日持参してください。
➡ 問い合わせに必要なもの(08ページ)を参照ください
(海外医療機関からの資料は、日本語または英語に翻訳されたもの)

- ☐ 現在処方されている薬、服用・使用されている薬

➡ 治療のために来日される方とご家族へ持参する薬(15ページ)

- ☐ 代理相談同意書(代理セカンドオピニオン相談の場合)
ご相談者をご家族以外の患者さんが委任された代理人の場合は、
当院規定の代理相談同意書に署名の上、来院時に持参いただいています。

- ☐ 診療費

➡ 当院での支払い(10ページ)

院内のルールとマナー

院内では以下の当院のルールとマナーをお守りくださいますよう、ご協力をお願いいたします。

院内での禁止事項

- ・指定場所以外での携帯電話の通話
- ・飲酒(ノンアルコールビール含)
- ・喫煙(電子タバコ、無煙タバコ含)
- ・きつい香水のご使用
- ・写真・ビデオ撮影
- ・暴力行為
- ・差別的、侮辱的もしくは公序良俗に反する言動

院内でのマナー

携帯電話はマナーモードに設定のうえ、公衆電話付近の決められた場所をお願いいたします。
決められた場所以外での通話は、他の患者さんへの迷惑にもなりますのでお控えください。

新患受付のながれ

ステップ1

1階 総合案内

病院正面玄関からお入りください。
右手に総合案内があります。インターナショナルサービススタッフとお約束の方、ご質問・ご不明な点がある方は受付の者にお知らせください。



ステップ2

1階1番 新患受付

受付整理券を取って、順番をお待ちください。
事前に提出していない資料がありましたら、全て受付に提出してください。
CD-ROM、フィルム類もお渡しください。
➡ 当日持参するもの(18ページ)

ID確認を行います。

同意書・問診票の記入

受付手続き終了後、呼出受信機や診察券、受付票などをお渡しします。



ステップ3

各診療科の受付

診察室の場所をご案内します。
各診療科の受付の者に声をかけてください。
診察券、持参資料、記入済みの問診票など
新患窓口でお戻しした資料を一式ご提出ください。



ステップ4

各診療科の中待合室

診療が近くなりましたら、呼出受信機でお呼び出しますので、
中待合室へお入りください。



ステップ5

診察室

呼出受信機でお呼び出しますので、指定の診察室にお入りください。



初回診療時にご相談いただくこと

初回の診察時に、持参した資料をもとに担当医と、これまでのがん治療(受けている場合)、現在の状態、今後の治療法などについてご相談いただきます。

過去に病院にかかった既往歴や持病疾患のある方、現在の体調で不安に思うことなどは、担当医にお伝えください。治療方針を立てるために、患者さんの全身状態(体力)や余病についても確認します。

治療を検討する上でご心配なこと、診療制限やその他ご希望のある方は担当医にご相談ください。

その後、検査の予定を組む場合は、担当医から説明がありますが、ご不明な点があれば、診療時に担当医に直接質問してください。検査の希望日時はご希望に沿えない場合がありますが、日本での滞在期間が限られている場合などは、担当医にお伝えください。

特に海外からの患者さんには、すぐに入院して治療をご希望される方もいらっしゃいますが、まずはがんの部位や進行度、全身への広がり状態、転移の有無を正確に把握することが、最適な治療を選択するために不可欠です。

正確な診断と最適な治療法を判断するために、どのような検査が必要か、また当院でどのような治療が可能か、その場合の具体的な治療内容、日程および治療期間について、納得のいくまでよくご相談ください。

当院は予約制になっておりますが、緊急患者さんの対応などのため、予約時間どおりに診察が始まらないこともあります。来院当日の受診後のご予定は、余裕をもって調整いただきますようお願いいたします。

- ➡ 女性の方へ、将来お子様を持つことをご希望される方へ(14ページ)
- ➡ 診療制限やその他ご希望のある方へ(14ページ)

ご希望の検査がある場合は、担当医にご希望をお話しいただくことが可能です。ただ、治療方針の決定に必要な検査はお断りさせていただく場合がありますので、ご了承ください。

他の医療機関で受けた検査結果を持参いただいた場合でも、画像が不明瞭な場合や検査記録が不十分である場合には、医師の判断で再度検査を受けていただくことがあります。

検査の結果により、当初の想定とは異なる病状が明らかになり、治療に対する見解が変わる可能性があります。



患者さんの権利

自国での医療の習慣や治療方法や常識と異なることで、不安や違和感を抱いたり、受けた説明がよくわからない場合は、担当の医師や看護師、医療従事者に納得するまでご質問ください。当院では、患者さんの権利と意思を尊重し、ご質問の内容によって患者さんが治療過程で不利益を被ることはありません。

初回ご相談後のながれ

ステップ1

精査

初回診療時に医師が予定を組んだ必要な検査を受けていきます。
検査の予約は一度ご案内したものについては、原則変更できませんので、最初にスケジュールを決める際に担当医とよくご相談ください。

疾患により必要な検査内容も異なり、数日～数週間かかります。

ステップ2

正確な診断と治療法の決定

検査の結果が全て揃ったところで再度医師の診察があります。
その際、現在のがんの状態や治療法の選択肢について、最適な治療法などの説明を受け、治療方針を決定します。

病名の告知とインフォームドコンセント

ご家族だけが病名を知りたいと希望される場合もありますが、当院では患者さんに病名の告知をしてご自分の治療について理解と決定をしていただいております。患者さん本人の同意・理解・告知・来院なしに治療を進めることは致しません。もし医師が勧める治療方針に同意しない場合は、治療をしないという選択もできます。

インフォームドコンセントとは、患者さんにこれから行う医療について医師が適切な説明を行い、患者さんがその説明を理解し正しい情報を得た上で、治療に合意することです。

判断や治療方針など気にかかることがある場合や、医師からの説明が納得できない場合には、よくわかるまでご質問ください。ご自分の治療を自分で選ぶことは患者さんの権利です。

当院では、入院・手術等治療の重要な治療ステップの説明時には、必ず医師からインフォームドコンセントを行っています。

ステップ3

入院申し込み

治療内容が決定した後、日本の健康保険証をお持ちでない自費診療の患者さんには入院費見積書をお渡しし、入院日までに全額お振込をお願いしています。詳細は、インターナショナルサービスにお問い合わせください。

➡ 当院での支払い(10ページ)

ステップ4

入院までのスケジュール

外来診療時に日程表をお渡しします。入院の希望日時もご希望に沿えない場合がありますが、滞在期間が限られている場合や一度帰国しなければならない事情等があれば、医師にお知らせください。

麻酔科医の診察、手術の予約

主治医が治療日程や予約を組みます。

患者さんが自分で予約をする必要はありません。

院内の他科受診、他の疾患で同時に他の医師の診察が必要な場合

当院はチーム医療を実践しています。診療情報は主治医と共有されます。

主治医から他の診療科の医師に紹介・予約をしますのでご自分で予約をする必要はありません。

入院

通訳

当院では日本語または英語を話されない患者さんには、安全な医療を提供し、医療従事者が患者さんと常にコミュニケーションがとれるよう、入院中、原則24時間通訳同伴のお願いをしています。通訳の方が一人だけでは対応が困難なことが多いため、複数名での交替をお勧めしています。

入院前に通訳の方が24時間付き添える体制を準備してください。夜間も通訳の方が患者さんのお部屋に泊まれるよう、原則個室入院をお願いしています。

平日、日中はインターナショナルサービスのスタッフもできるだけサポートいたします。

➡ 日本語を話されない患者さんへ
(16ページ)

入院中に状態が安定して退院の目途がついた患者さんには、主治医と病棟看護師長の判断で、通訳は日中のみとし、夜間の付き添いは免除とする場合もあります。

術後の回復などは個人差がありますので、前もってご手配の程お願いいたします。

12西病棟



入院時に持参するものの準備

入院申込みの際に持ち物リストをお渡しします。院内1、5階にコンビニエンスストアがあり、入院時に必要で持参をお願いするものはほとんど販売していますが、次の点にご留意ください。

パジャマ

有料(200円/日)にて貸し出しを行っています。(特別病棟の方は室料に含まれます。)ご自分のものをお持ちになる場合は、医師の診察や看護師が診察等しやすいように前開きのものをお願いいたします。

汚れたらすぐに取り換えられるので、感染予防のためにも病院のパジャマをお勧めしています。

室内履き

ゴム底で滑りにくいもの。かかとがあるもので、脱いだり履いたりしやすい靴をご用意ください。

院内の売店で購入できますが、サイズなどご心配な場合はご自分のものをお持ちください。スリッパは転びやすいのでご注意ください。

入院治療

当日のながれ

入退院受付で予めご案内した時刻に手続きをした後、入院病棟にむかいます。病棟では、担当看護師から部屋の説明、病棟内設備のご案内、既往歴の再確認や持参薬の確認などのオリエンテーションがあります。

入院中のチーム医療

医師

入院中は、主治医以外に同診療科の医師数名が担当医としてチームで治療を担当します。平日は朝や夕方に担当医によるラウンドもありますので、ご心配なことや質問等直接ご相談ください。夜間帯や休日等、主治医の不在時には当直担当医または同じ診療科の医師が対応いたします。

看護師

入院中、医療的にご心配なこと・質問などがあれば、ナースコールでお知らせください。入院中のスケジュールを日毎に表でわかりやすく説明したクリニカル・パスや、検査の説明等もいたします。

薬剤師

各病棟の常駐薬剤師が、入院中に投与されるお薬の管理を行っております。当院の薬管理のルールを守っていただきますようお願いいたします。治療前の薬の服用をやめた方が良いのか、続けて飲んでも良いのかなどご心配な点があればご相談ください。

管理栄養士

当院では、栄養管理を治療の一環と考え、病棟に管理栄養士を配置し、効率的な栄養療法を実践しています。入院時に管理栄養士との面談があり、和食かコンチネンタルからメニューが選択でき、入院中を通してサポートいたします。また、アレルギーや宗教などの理由で食事面のご心配があれば、事前にお知らせください。



退院の予定

退院の日程などは、担当医師チームのラウンド時にご確認ください。通常は、退院後約1~3週間で外来診察を予定し退院後の回復などを診ます。退院後翌日に飛行機に乗ってすぐに帰国することは、治療後の患者さんには非常に負担が大きい為、お勧めしていません。

入院前の医師からの説明の際に、治療内容だけでなく滞在期間についてもよくご相談ください。

入院前の説明で、想定される入院期間の説明をしておりますが、入院期間が前後する場合があります。

退院後の次の外来までは、万が一気分が悪くなってもすぐに来院できる病院周辺に滞在することをお勧めしています。

➡ 退院後(25ページ)

ご家族の方へ、面会の方へ

院内では当院のルールとマナーをお守りくださいますよう、ご協力をお願いいたします。

➡ 院内のルールとマナー (18ページ)

院内で気分が悪くなったり病気やケガがある場合

緊急時は近くの医療従事者へお知らせください。その他は、インターナショナルサービスへご相談ください。患者さんへの感染予防など影響を考慮して、受診いただく場合もあります。

お見舞いの方から入院患者さんへの感染症の拡散を防止するために「37.5℃以上の発熱のある方」「のどの痛み、咳の症状のある方」「発疹のある方」「眼が赤くなっている方」「12歳以下で「はしか」「みずぼうそう」「風疹」「おたふくかぜ」のワクチン接種を行っておらず、かかったこともない方」についてはお見舞いをご遠慮いただいております。

症状の原因が感染症以外の慢性の病気と診断されている方、病棟から特別に許可を得ている方は除きます。

ご家族、ご面会の方もがんの検査をご希望される場合

患者さんに付き添い来院されるご家族・関係者の多くが、ご自身もがんの検査を受けたいとご希望されます。当院では同敷地内に健診センターを併設し、がんの早期発見・早期治療を推進しています。

➡ 健診センター (26ページ)

通訳・代理人の方へ

当院では、患者さんに医療従事者からの説明を正確にご理解頂き、治療に対する意志・同意を確認しながら、治療を進めています。通訳の方には、当院スタッフと患者さんやご家族の間に入り、相互理解のサポートをお願いいたします。

当院通訳ルール

日本語・英語以外の言語を話される患者さんには、通訳の方と来院していただいております。患者さんの安全を第一に考えて、外来診療時は毎回すべての診察や検査に同伴、また、入院治療時には24時間同伴をお願いしています。

➡ 日本語を話されない患者さんへ (16ページ)

お願い

プライバシーへの配慮をお願いします。通訳時に得た情報等の秘密は保守し、個人情報は絶対に口外しないでください。

院内では携帯電話はマナーモードに設定の上、通話はお控えください。

通訳依頼時に発生する契約及び請求については、当院は関与致しません。患者さんご本人と通訳者の間で直接お願いします。

通話が必要な場合は、指定の場所(公衆電話付近)にて可能です。

代理人の方へ

患者さんからの要望と代理委任があった場合に限り、代理人によるセカンドオピニオン相談、書類の受領、返金の受取等が可能です。代理人の方は、来院時に同意書をご提出ください。

退院後

退院時の精算・支払い

自費の患者さんは、デポジットでいただいた見積額を精算します。差額があれば退院時に返金、または追加のお支払いをしていただきます。

➡ 当院での支払い(10ページ)

退院後に病院から患者さんへ提供できるもの

医療機関・医師宛の紹介状、病理の結果、一部検査結果データ類などが必要な場合は、主治医にご相談ください。

保険・勤め先宛の診断書類が必要な場合は、お知らせください。ご希望の申請用紙に医師が医療情報を記入したり、英文診断書を発行したりいたします。

帰国までの滞在

通常は、退院後1~3週間の内に外来診察を予定し、退院後の回復状況などを診ます。退院の翌日に飛行機に乗って帰国することは、治療後の患者さんには非常に負担が大きい為、お勧めしていません。退院後の帰国までの滞在期間については、主治医にご相談ください。

特に肺切除後の方は航空機の搭乗制限がある場合があります。

帰国後

帰国後の当院受診予定や診療拠点について、当院主治医とよくご相談ください。

その後の治療を自国でご希望される場合には、当院から必要な紹介状等(日本語または英語)をお渡しできます。

帰国後に書類や紹介状等が必要になった場合は、インターナショナルサービスにお問い合わせください。

自国の病院に通われ経過観察をしながら、当院に半年毎、1年に1度検査の為に来院されている患者さんもいらっしゃいます。診察時に主治医が次回受診の予約をしますので、変更のないようにお願いします。

半年後、1年後の予定が不明な場合は、来院予定の3ヶ月前までにインターナショナルサービスにご連絡ください。予約を調整いたします。



健診センター

健診センターでは、健康で症状がない方を対象に、がんの早期発見を主軸に健康状態全般をチェックする人間ドックを行っております。

経験豊富で高度な技術を有する腫瘍専門医と専門技師が直接検査・診断にあたり、がんの早期発見に努めます。もし、がんの疑いがあれば、精密検査や治療についてがん研有明病院の専門外来での高度な医療をご紹介します。

日帰り健診メニュー

●がん基本コース(男女共通)

問診、心電図、胸部ヘリカルCT、胃内視鏡、腹部超音波、
血液検査、尿検査、眼底眼圧検査、聴力検査、便潜血反応検査、喀痰検査

●がん基本女性コース

問診、心電図、胸部ヘリカルCT、胃内視鏡、腹部超音波、
血液検査、尿検査、眼底眼圧検査、聴力検査、便潜血反応検査、喀痰検査、
乳房検査、婦人科検査、甲状腺検査、骨密度検査、

●女性専科コース

問診、血液検査、胸部ヘリカルCT、喀痰検査、
乳房検査、婦人科検査、甲状腺検査、骨密度検査

●単項目検診

・胃内視鏡検診 ・大腸内視鏡検診 ・乳房検診 ・子宮卵巣検診 ・腹部CT検診
・胸部ヘリカル検診 ・大腸CT検診 ・PET-CT検診 ・骨密度検査

入院ドックメニュー

●1泊2日

入院の曜日は月曜日入院コースと木曜日入院コースとさせていただきます。

検査内容

診療(問診)、血液・尿検査、喀痰検査、心電図、胸部X線検査、CT検査(胸部・腹部)、
マンモグラフィ(女性のみ)、骨密度検査(女性のみ)、眼底・聴力検査、
超音波検査(甲状腺・腹部・乳房)、胃・大腸内視鏡、頭頸部検査、
泌尿器検査(男性のみ)、婦人科検査(女性のみ)

健診センターは予約制です。予約のご案内や費用詳細などにつきましては、インターナショナルサービスにお問い合わせください。

☎ +81-3-3570-0383

✉ intl.info@jfc.or.jp

※健診日決定後にキャンセルの場合、健診日1ヶ月前からキャンセル料金を頂戴しております。



アクセス

成田国際空港	タクシー120分・電車 90分
東京国際空港(羽田)	タクシー 35分・電車 40分
東京駅	タクシー 30分・電車 20分
新宿駅	タクシー 35分・電車 30分



がん研究会を支える皆さまからの寄付

がん研究会は、1908年に創立された日本最初の民間がん専門機関です。民間だからこそできる理想の研究・治療環境の追求、健診から緩和ケア医療に至るまでの全人的治療の実践は、がん研究会の理念・活動・実績に賛同した機関・企業・個人からの寄付や募金、支援によって支えられています。

皆様方からいただきましたご寄付は、研究所における基礎的研究の推進、研究所と病院の連携研究、手術室の増室、最新医療機器・設備充実のために、また公開講座等を通じたがんの知識普及のために大切に使用させていただいております。

皆様の温かいご支援ご厚志に感謝し、心より御礼申し上げます。引き続きご支援の程、心からお願い申し上げます。

公益財団法人 がん研究会

総務部 募金課

☎ +81-3-3570-0512 (直通・日本語) ☎ +81-3-3570-0383 (英語・中国語)

✉ intl.info@jfc.or.jp





公益財団法人 **がん研究会 有明病院**
THE CANCER INSTITUTE HOSPITAL OF JFCR

〒135-8550 東京都江東区有明 3 丁目 8 番 31 号

TEL +81-3-3570-0383 FAX +81-3-3570-0245

EMAIL intl.info@jfc.or.jp

URL <http://www.jfc.or.jp/hospital/>